

### （計画書の構成案）

#### 市長メッセージ

今回提示する資料の  
計画書における該当箇所

#### 1. はじめに

- 1-1. 計画策定の目的
- 1-2. 計画の区域
- 1-3. 計画の期間
- 1-4. 計画の位置づけ
- 1-5. 計画で対象とする公共交通

#### 2. 地域と公共交通の現状

- 2-1. 位置・地勢
- 2-2. 人口
- 2-3. 目的地となる施設の立地状況
- 2-4. 観光資源の状況
- 2-5. 鉄道
- 2-6. 路線バス・高齢者等外出支援事業
- 2-7. タクシー
- 2-8. 出雲市が実施する移動支援施策

昨年度に検討

#### 3. 地域別の問題点

#### 4. 取り組むべき課題

#### 5. 出雲市がめざすまちづくり

#### 6. 公共交通の将来像

- 6-1. 基本理念
- 6-2. 出雲市のめざす姿（基本目標）
- 6-3. 将来の公共交通ネットワーク

#### 7. 将来像を実現するために実施する施策

- 7-1. 施策の具体的な内容
- 7-2. 実施主体

#### 8. 事業スケジュール

- 8-1. 事業一覧（実施主体、スケジュール）

次回以降検討

#### 9. 計画の管理、モニタリング

- 9-1. PDCAサイクル
- 9-2. 計画の管理、モニタリングの方法

# 市長メッセージ

写真

テキスト

出雲市長  
飯塚 俊之

# 1.はじめに

## 1-1. 計画策定の目的

本市は、平成17年3月に出雲市、平田市、佐田町、多伎町、湖陵町、大社町の2市4町の新設合併、平成23年10月に斐川町の編入合併により、現在の出雲市となりました。

本市の道路環境に目を向けると、東西に国道9号が横断し、それに並行して山陰自動車道の整備が進められています。また公共交通機関については、JR・一畑電車といった鉄道や出雲縁結び空港を発着する空路、高速乗合バス、路線バス、コミュニティバス、タクシーなど、多様なモードが存在します。

一方で、市内の路線バスは基本的に合併前の旧市町における経路・時刻・運賃などのサービスを引き継いでおり、各地域で人口減少や少子高齢化が進行する中、利用者ニーズとの不整合や非効率な運行が見られる路線もあります。

また、昨今の公共交通を取り巻く環境については、平成29年に運転手不足による民間運行事業者の路線廃止及び減便がなされた事に加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い交通事業者の経営状況のさらなる悪化が問題とされています。さらに、教育や福祉といった関連する他分野との連携強化・役割分担といった課題も生じており、関係者の協働によって利便性が高く持続可能な公共交通体系を構築する事が急務となっています。

このような中、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」の改正法が令和2年11月に施行され、「地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿」を明らかにする「マスタープラン」としての役割を果たす地域公共交通計画の作成・実施がすべての地方公共団体において「努力義務」となりました。

これらのことから、使いやすく持続可能な公共交通を実現するため、上位計画や関連計画との整合性を図りながら、市内全体の公共交通の在り方を示す出雲市地域公共交通計画を策定します。

また、計画の中に位置付ける施策は、各関係者が連携・協働して実施することとし、事業関係者全員で本計画を推進していきます。

なお、本計画はすべての市民や本市への来訪者を対象としますが、特に自家用車を運転しない高齢者や若年層、観光客等の来訪者の移動手段確保に重点を置き、方針や目標、施策を整理します。

## 1-2. 計画の区域

出雲市全域

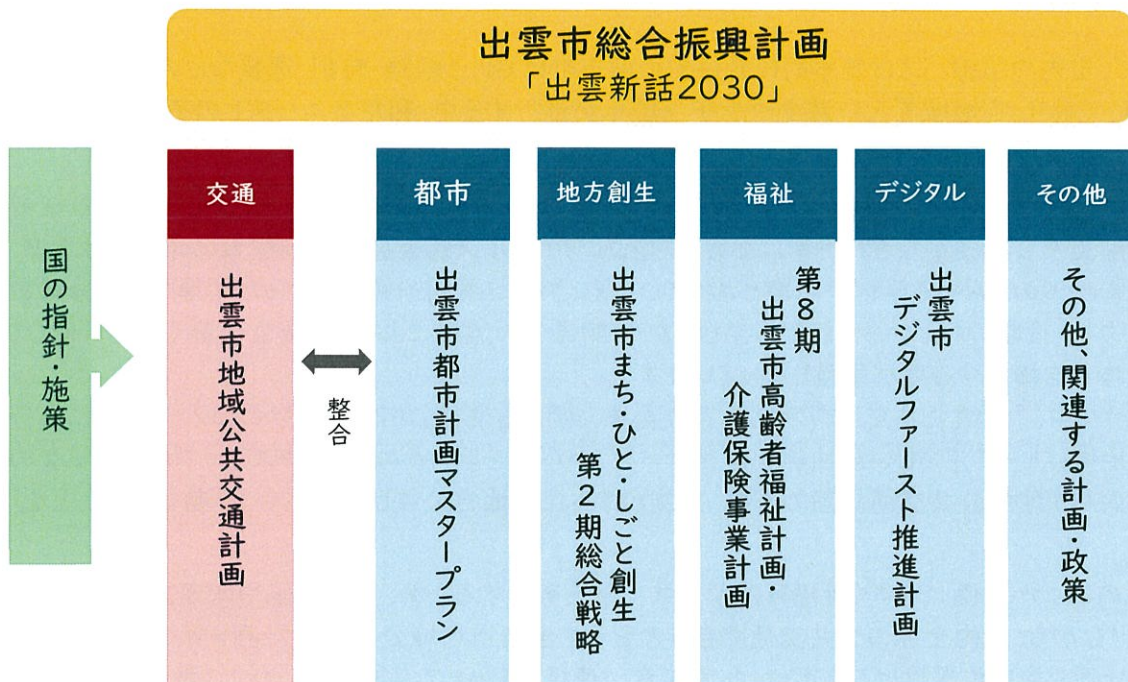
## 1-3. 計画の期間

令和5年度～令和9年度の5年間

## 1-4. 計画の位置づけ

本計画では、上位計画である「出雲市総合振興計画『出雲新話2030』」、およびその他関連計画と整合を図りつつ、本市の公共交通政策の基本方針を定めます。

また、本計画の中で整理した課題を解決するための事業の詳細は、別途個別に検討します。なお、計画に掲げる具体的な取り組みは、中期財政計画に位置付け、毎年度予算において実施します。



### 出雲市の公共交通 × SDGs

SDGsは、2015年9月の国連サミットで採択された「国際社会における2030年までの開発目標」です。持続可能な世界を実現するための17の目標と169のターゲットで構成され、「地球上の誰一人として取り残さない」ことを誓っています。

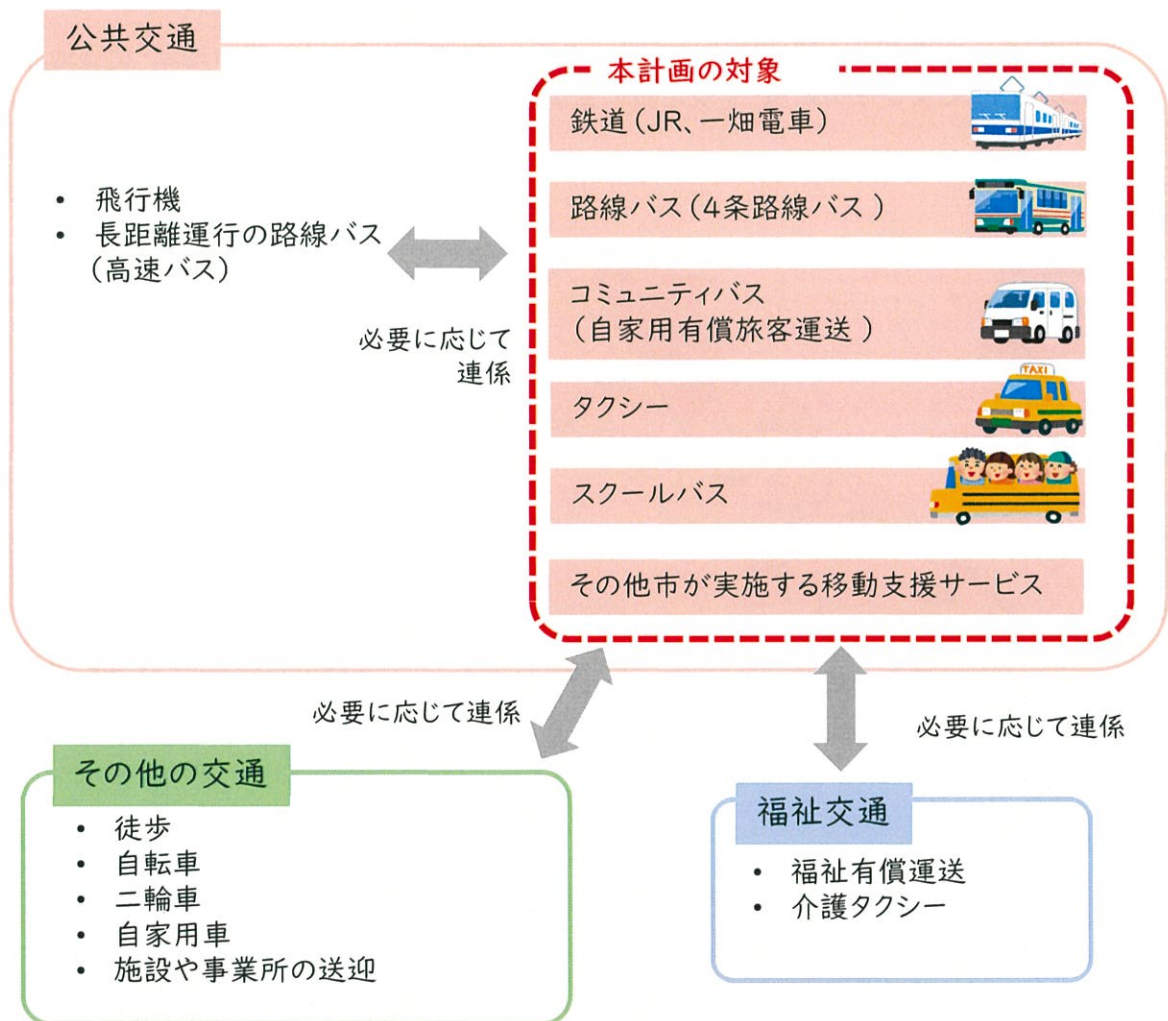
出雲市では、こうした世界規模の目標を十分に踏まえ、地域公共交通計画の各政策、施策の推進に取り組んでいきます。

**SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS**



## 1-5. 計画で対象とする公共交通

鉄道、路線バス、コミュニティバス、タクシー、スクールバス、またその他の市が実施する移動支援サービスを本計画の対象とする「公共交通」とします。



### 【4条路線バス】

道路運送法による許可を受けた運送事業者が、あらかじめ定められた時間に、定められたルートで運行する乗合バスのこと。運行には緑ナンバーの車両(事業用自動車)が用いられる。

### 【自家用有償旅客運送】

バスやタクシー事業によって十分な輸送サービスが提供されず、地域の交通が確保されていない場合に、市町村やNPO法人等が白ナンバーの車両(自家用自動車)を用いて有償で路線バス等を運行する仕組み。平田地域の平田生活バス、多伎地域の多伎循環バスが該当する。

### 【その他市が実施する移動支援サービス】

出雲市が高齢者等の移動が困難な人を対象に実施するサービス。出雲・湖陵地域の福祉バス、佐田・多伎地域の高齢者等外出支援事業、斐川地域のまめながタクシー外出支援事業が該当する。

## 2.地域と公共交通の現状

### 2-1. 位置・地勢

- 本市は、島根県東部に位置する、北部と西部に日本海を臨む都市です。
- 平成17年(2005)3月の2市4町(出雲市、平田市、佐田町、多伎町、湖陵町、大社町)の新設合併、平成23年(2011)10月の斐川町の編入合併を経て、現在の出雲市になりました。
- 本計画では、島根県中山間地域活性化基本条例に基づき、出雲地域・平田地域・湖陵地域・大社地域・斐川地域の一部、及び佐田地域・多伎地域の全域を「中山間地域」と定義します。



図 出雲市の位置

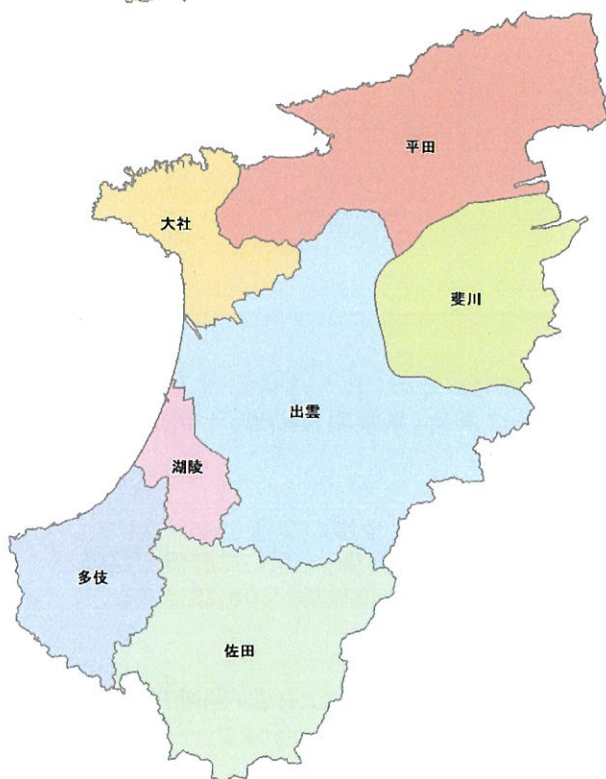


図 地域区分

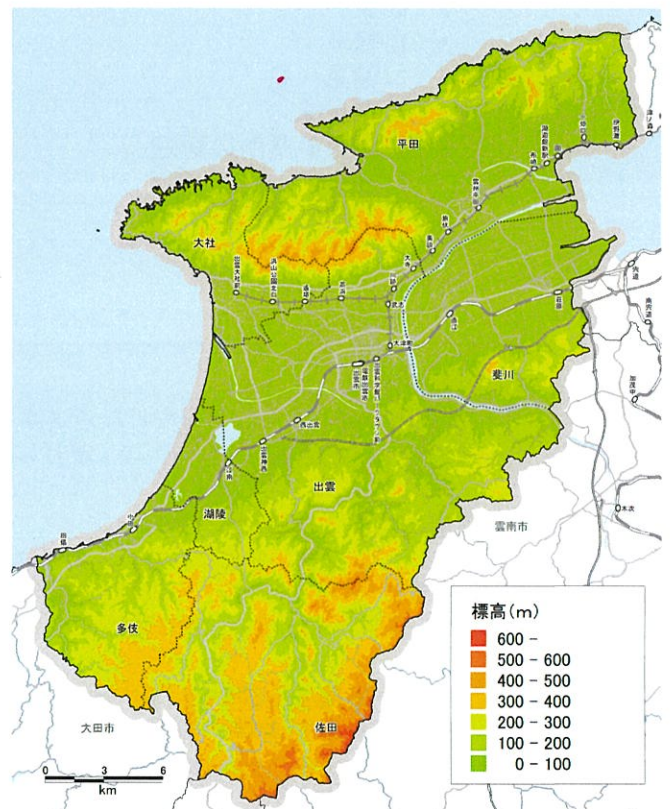


図 地勢

## 2-2. 人口

- 主に、市の中部に人口が集積しています。
- 平田地域や大社地域の日本海沿岸では、狭隘な土地に人口が集積しているのが見て取れます。
- 総人口は近年横ばいの傾向ですが、国立社会保障・人口問題研究所によると、令和7年から減少すると推計されています。
- 老年人口は増加し続けており、65歳以上人口が総人口に占める割合（高齢化率）は令和2年時点で30%を超え、この傾向は今後も続くと推計されています。

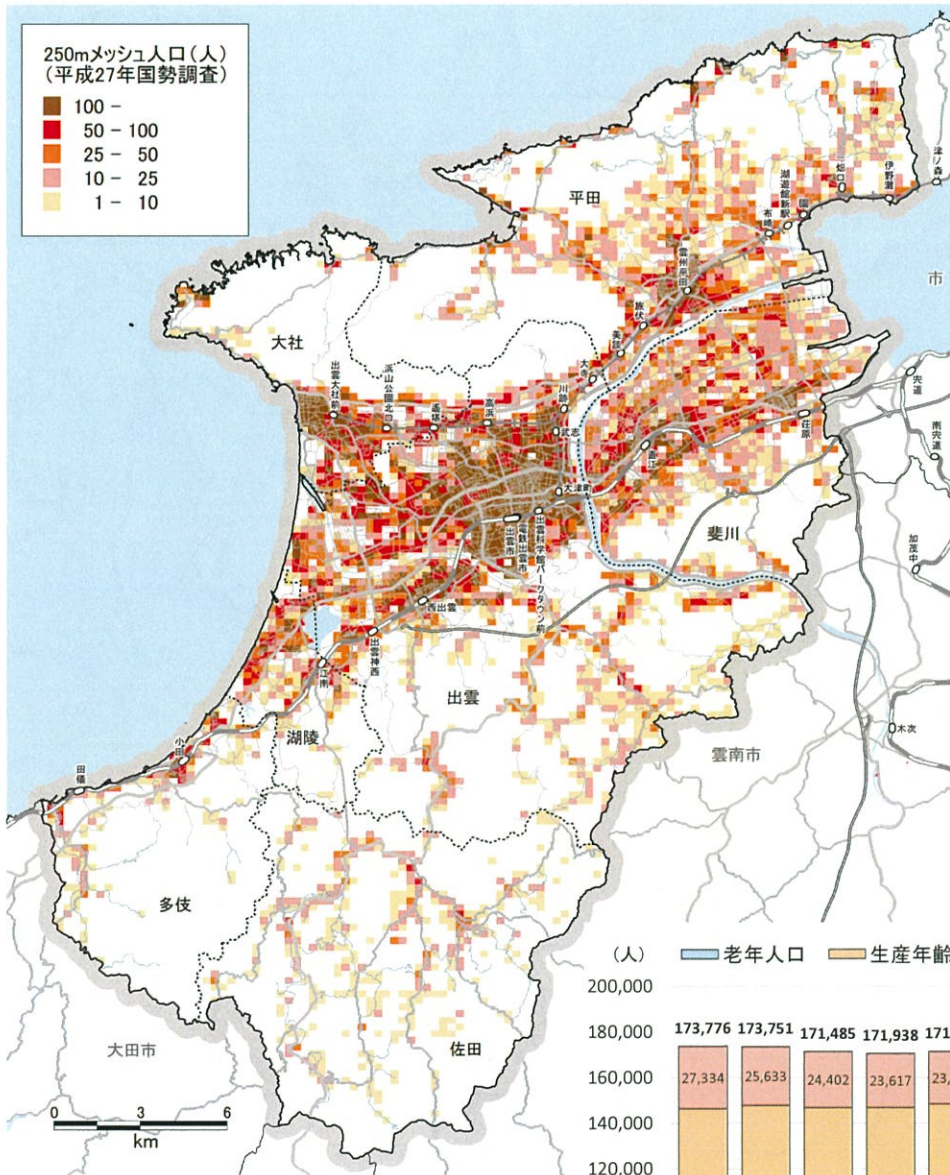


図 人口分布

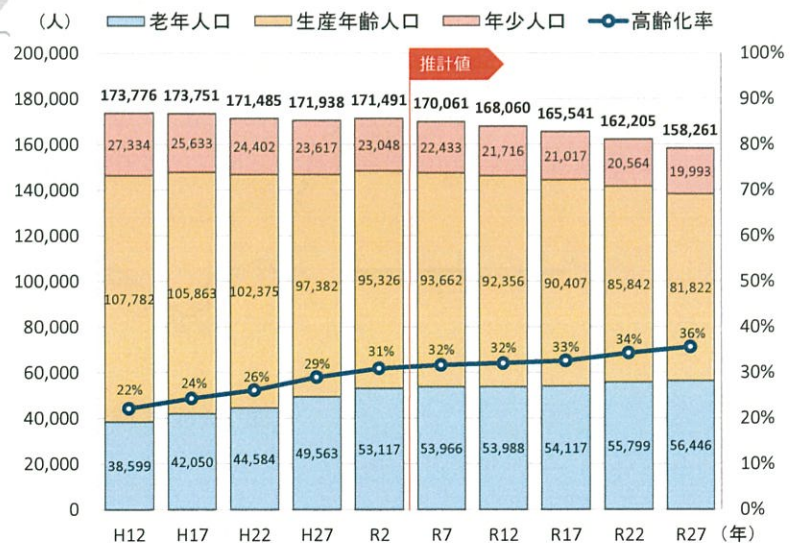


図 年齢3区分別人口と高齢化率の推移

## 2-3. 目的地となる施設の立地状況

- 移動の目的地となる施設は、出雲・平田・大社・斐川地域の中心部に集積しています。

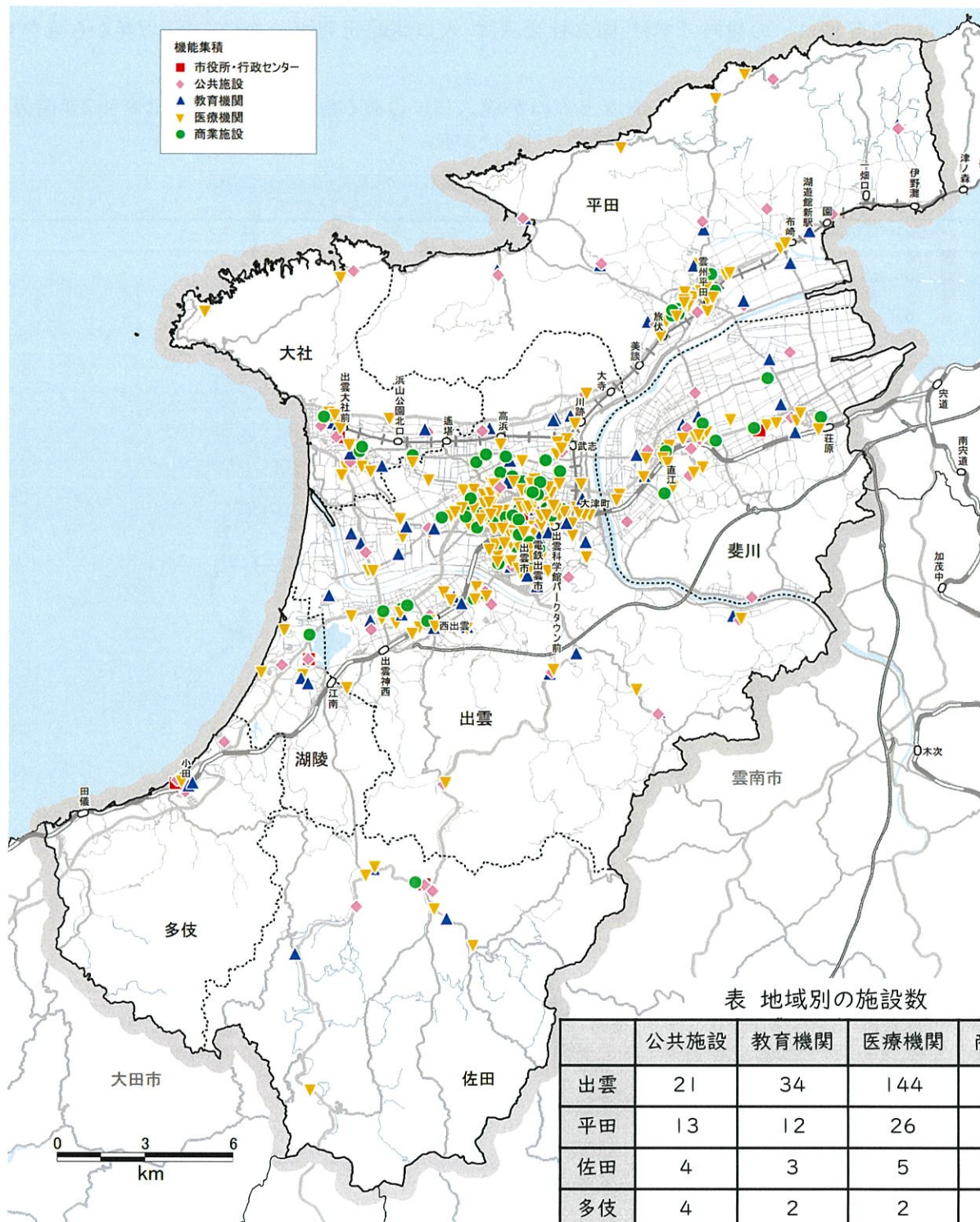


表 地域別の施設数 (件)

	公共施設	教育機関	医療機関	商業施設
出雲	21	34	144	41
平田	13	12	26	7
佐田	4	3	5	1
多伎	4	2	2	1
湖陵	3	2	3	1
大社	7	5	15	4
斐川	11	7	23	8

図 機能集積状況



## 2-4. 観光資源の状況

### ① 観光資源の分布状況

- 日本を代表する観光地である出雲大社や、日本遺産「日が沈む聖地出雲」の中核をなす観光地である日御碕灯台など、様々な観光資源が各地域に点在しています。
- 年間観光入込客数は、平成の大遷宮の影響を受けて増加し、平成26年以降も高い水準を維持していましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響等により令和2年及び令和3年は令和元年の70%程度に減少しています。

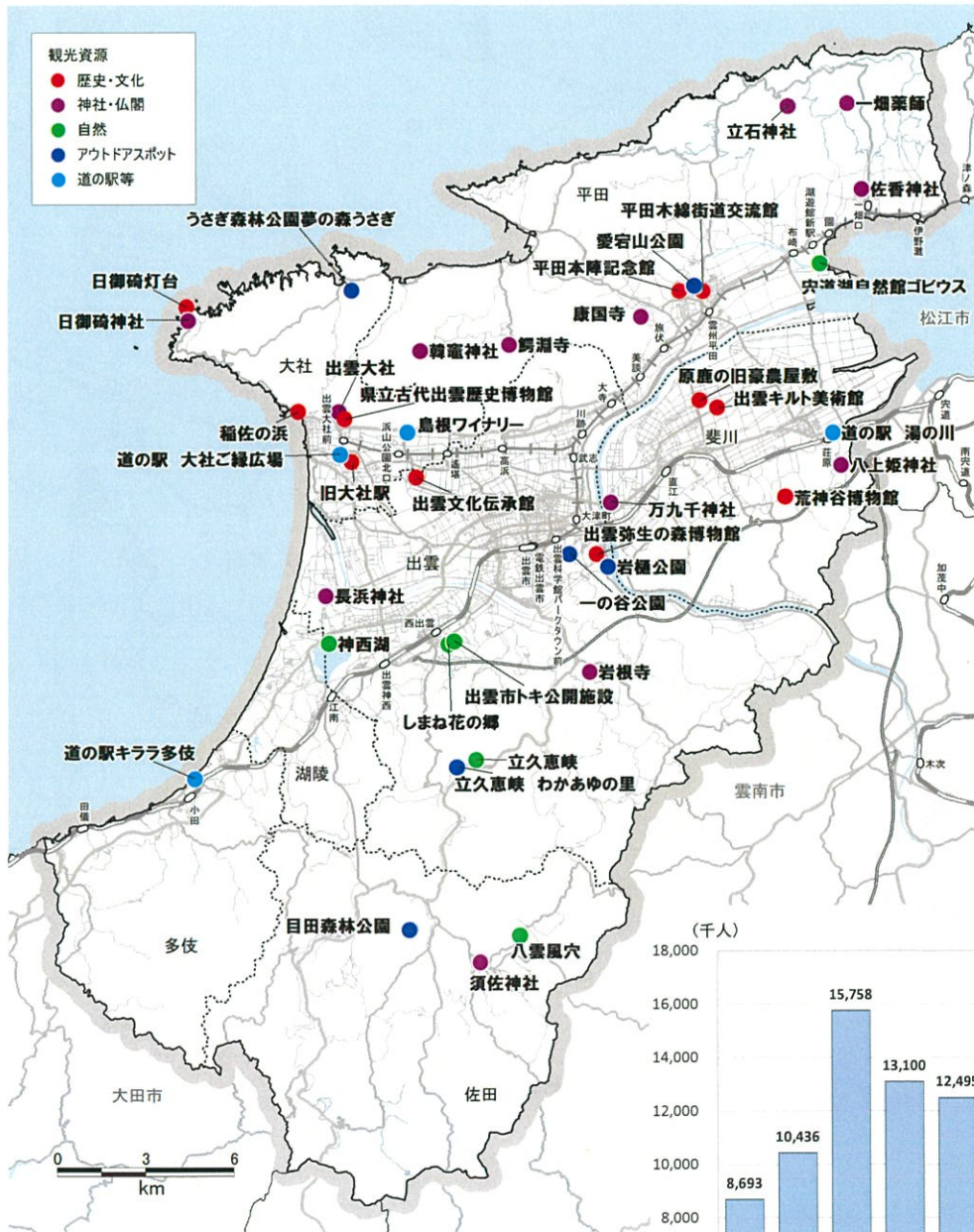


図 観光資源の分布

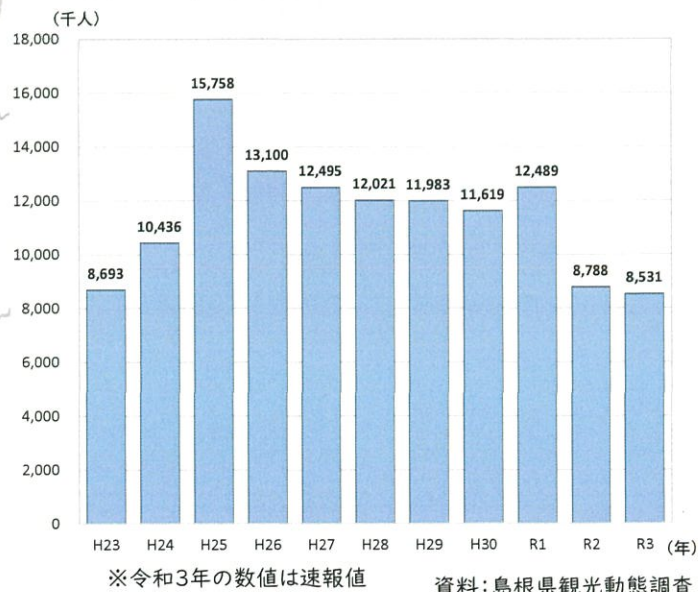
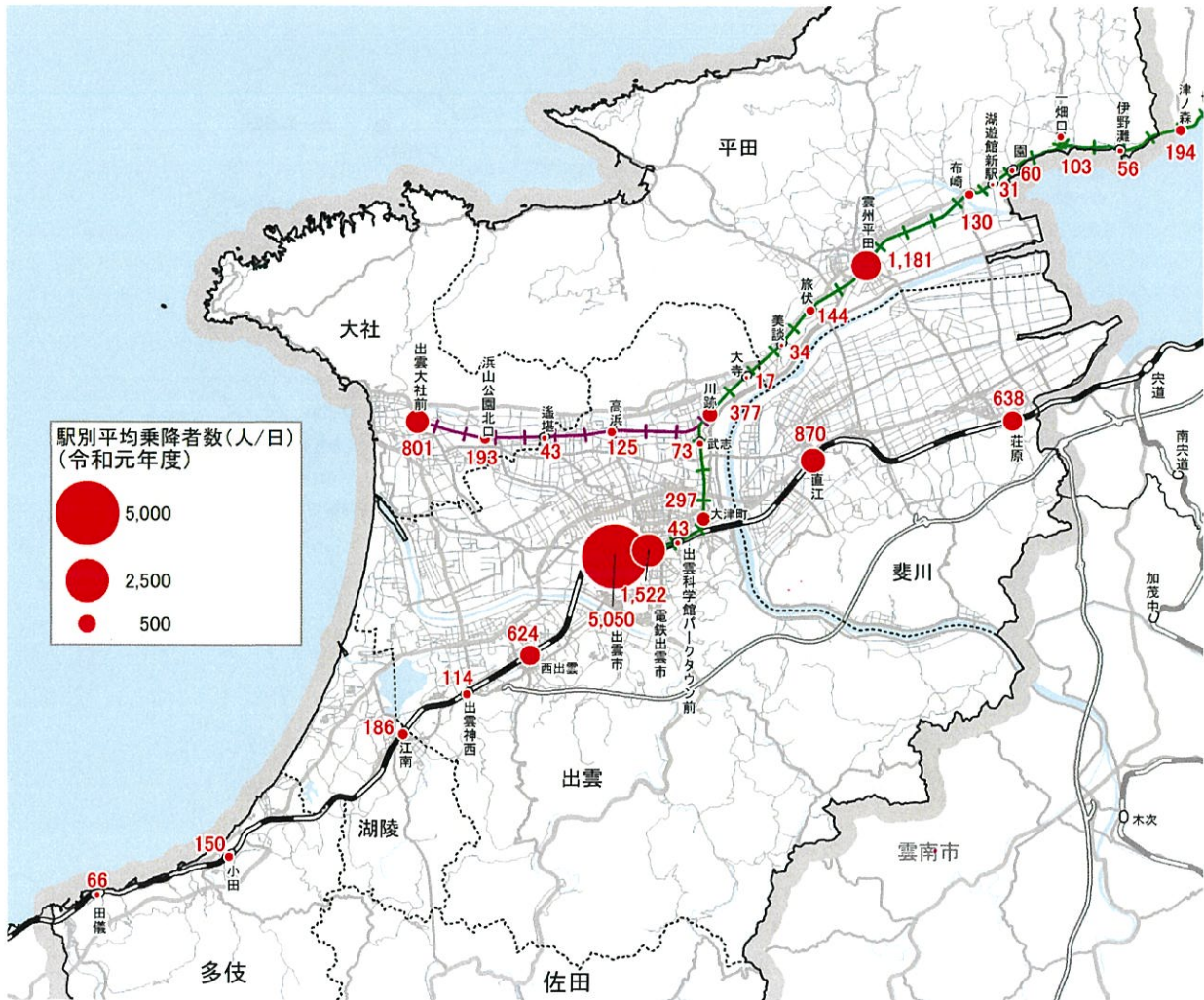


図 市全体の観光入込客数

## 2-5. 鉄道

### ① 鉄道網と各駅の利用者数

- JR山陰本線は、出雲市駅を含む荘原駅～西出雲駅の区間は一定の利用がありますが、出雲神西駅以西は利用者数が少なくなっています。
- 一畑電車は、電鉄出雲市駅、雲州平田駅、出雲大社前駅といった各地域の拠点となる駅では一定の利用がある一方、1日あたりの利用者数が少ない駅も見られます。



資料: 島根県統計書

図 駅別の1日あたり利用者数

## 2-6. 路線バス・高齢者等外出支援事業

### ① 運行状況

- 出雲・平田・佐田・多伎・湖陵・大社地域では、交通事業者が運行する路線バス、市が運行する自家用有償旅客運送が運行しています。
- 佐田・多伎地域では、路線バスでの移動が困難な高齢者等を対象に「高齢者等外出支援事業」が実施されています。
- 斐川地域では、「斐川まめながタクシー外出支援事業」が実施されており、条件に当てはまる人が乗合タクシーを利用することができます。

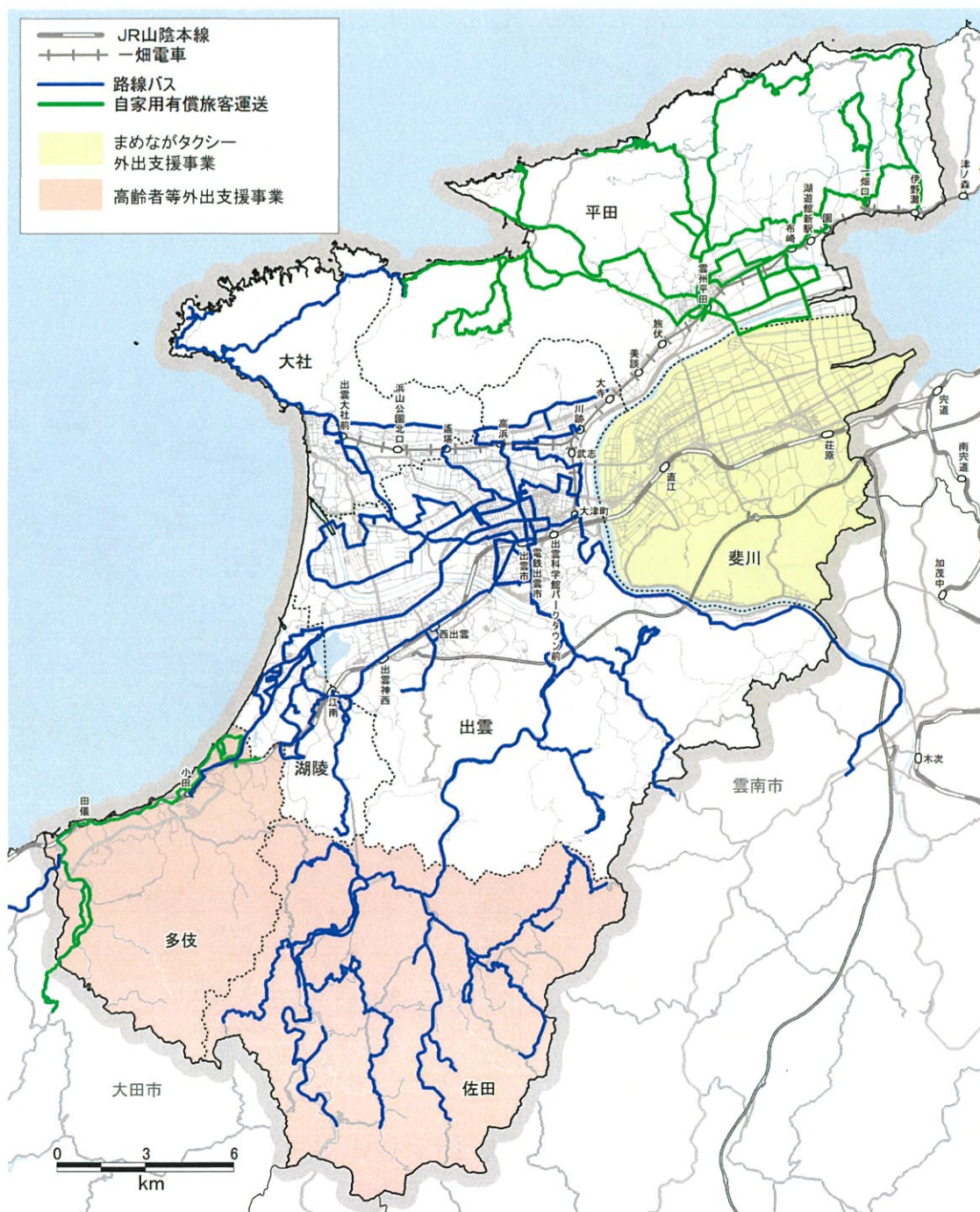


図 運行状況

## ② サービス水準

- 各路線が重複する出雲市駅周辺、出雲大社線が運行する出雲市駅～出雲大社連絡所の区間において、運行便数が多くなっています。
- その他の地域は、平田地域・多伎地域等で1日あたり20便以上確保されている区間がある一方、佐田地域を運行する佐田生活福祉バスは全ての路線において1日あたり5便未満となっています。
- 平田地域や多伎地域からは600円から800円未満で出雲市駅まで行くことができますが、佐田地域や大社地域の日本海沿岸からは800円以上かかるなど、地域によって差がある状況です。

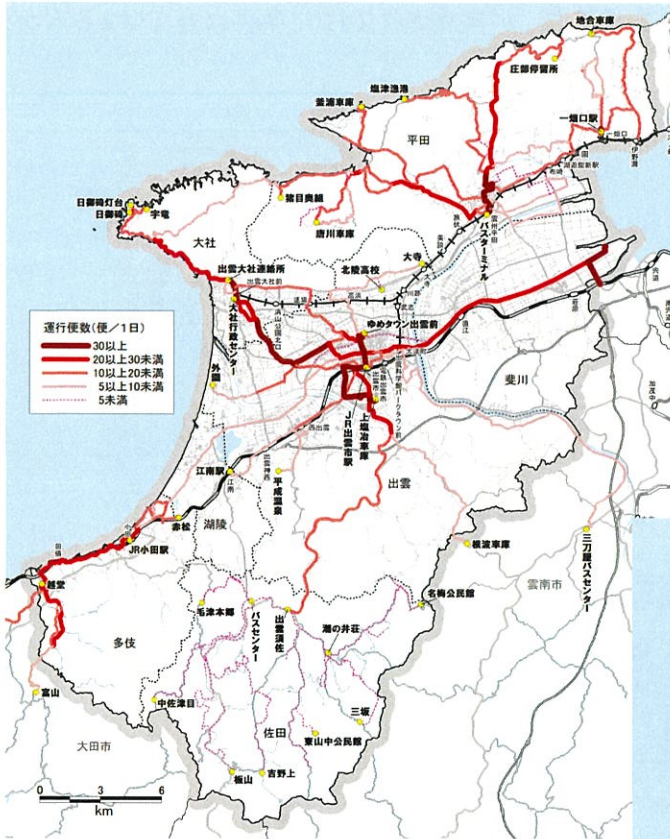


図 運行便数(令和4年3月時点)

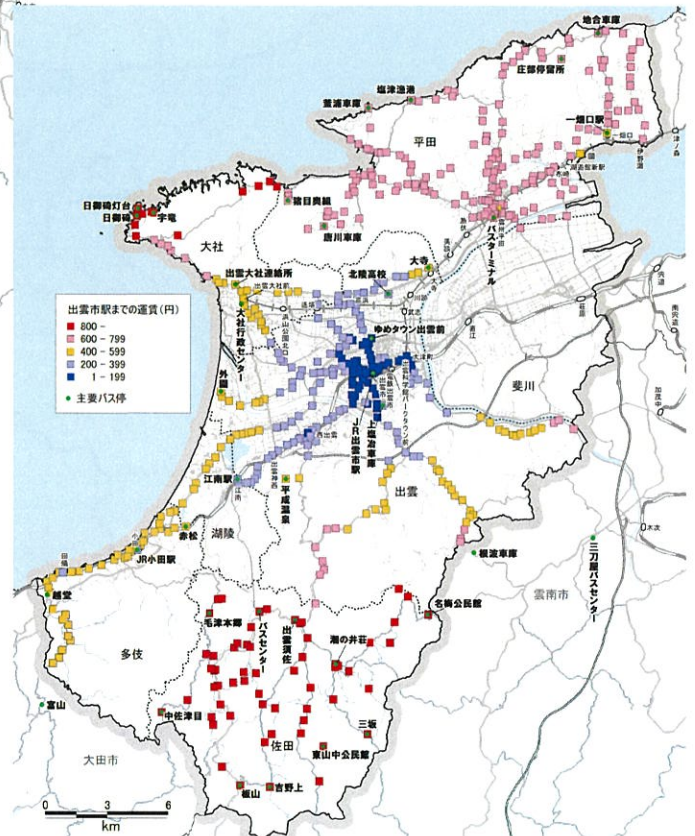


図 出雲市駅までの運賃(鉄道・路線バス 令和4年3月時点)